

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (3), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status legend and a space for comments and improvement strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (4), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes status options like '現状どおり推進' and '拡充'.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (7), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019-2023.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status row (現状どおり推進, etc.) and a comment field.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (8), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用) with detailed budget breakdown for Heisei 31 and Reiwa 2-4.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	9	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし				
1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	常磐線の利便性向上	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名 企画財政部・企画課				
	③事業主体	○市 ●その他（松戸市・柏市・我孫子市・取手市）		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	平成31年度～		⑥担当職員数	3人（換算人数） 0.39人						
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円	当該（開始）年度	（当初）	4,696千円（うち人件費 3,393千円）	（変更後）	千円（うち人件費 千円）			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無 部門別計画への位置づけ（計画名）			
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海道線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			事業目的	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR常磐線の輸送力の強化と利便性の向上を図る。					
(3) 事業内容	内容	我孫子市が構成団体となっている成田線活性化推進協議会や千葉県JR複線化等促進期成同盟において、常磐線の利便性向上に向けた取り組みを進める。JR東日本に対しては、常磐線特別快速の我孫子駅停車の実現や品川以南の東海道線との直通運転の実現、臨時特急「踊り子号」の運行継続などについて要望していく。また、松戸市・柏市・取手市などの沿線自治体とJR東京支社長との意見交換を行う。さらに、市制50周年事業として、我孫子駅の発車メロディを「あひこ市民の歌」「河童音頭」に変更する。			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月～11月 成田線活性化推進協議会、千葉県JR複線化等促進期成同盟などにおいて、JR東日本に対する要望活動を実施する。 令和2年1月 松戸市・柏市・取手市などの沿線自治体とJR東京支社長との意見交換を行う。 令和2年度中 我孫子駅の発車メロディを「あひこ市民の歌」「河童音頭」に変更する。 					
		当該年度活動結果指標	JR東日本への働きかけ回数	単位	回	想定値	3				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位 (5) 現況値 (6) 目標値				
当該年度	通勤・通学者の利便性向上を図る。			直接	要望事業数	項目	3 3				
令和3年度	通勤・通学者の利便性向上が図られている。			直接	要望実績率（要望事業数/要望予定事業数）	%	100				
令和4年度	通勤・通学者の利便性向上が図られている。			直接	要望実績率（要望事業数/要望予定事業数）	%	100				
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		JR東日本への働きかけ	0	JR東日本への働きかけ	0	JR東日本への働きかけ	0	JR東日本への働きかけ	0	JR東日本への働きかけ	0
		* 天王台駅施設移転負担金	2,484	* 発車メロディ制作委託料	220	* 音楽著作権料	50	* 音楽著作権料	50	* 音楽著作権料	50
				* 発車メロディ変更負担金	1,000	* 草刈委託料（柴崎台1丁目19番7）	33	* 草刈委託料（柴崎台1丁目19番7）	33	* 草刈委託料（柴崎台1丁目19番7）	33
予算(決算)額	合計	2,484	合計	1,303	合計	83	合計	83			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源	2,484	1,303	83	83						
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.42	0.39	0.4	0.4						
	正職員人件費	3,696	3,393	3,480	3,480						
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0						
	臨時職員賃金額	0	0	0	0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	6,180	4,696	3,563	3,563							
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	2,060千円/回	1,565.33千円/回									
2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価			事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））			改善検討				
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	常磐線特別快速は速達サービスを主眼に運行されており、品川～土浦間の19駅のうち、我孫子駅・天王台駅を含む4駅のみ停車していない。また、常磐線は上野東京ラインに直通し、平成29年には乗り入れ本数も拡大されたが、品川以南の東海道線との相互直通運転は実現していない。これらの課題を解決し、常磐線利用者の利便性が向上するためには、JR東日本に対し、粘り強く要望活動を続けていく必要がある。さらに、市制50周年事業として我孫子駅の発車メロディを地域特有のメロディに変更することで、我孫子駅や鉄道に対して、さらに愛着を持ってもらう。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>			○要 ○不要				
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	<ul style="list-style-type: none"> ●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである（理由） □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 			<ul style="list-style-type: none"> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 			<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	○要 ○不要		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容			
	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画あり ○②事業実施時に市民の参画あり ○③管理・運営に市民の参画あり ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 			<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 			<ul style="list-style-type: none"> ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 			<期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容			実施した具体的な内容	環境への配慮			
	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 			<ul style="list-style-type: none"> □①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である 			<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値達成 ○②目標値未達成 			<想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (項目)	目標値(b) (項目)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	達成率(%) (f/b×100)				
	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である 			実績値(f) (項目)	達成率(%) (f/b×100)				
				<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値達成 ○②目標値未達成 			<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		事業費の削減対策について			
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 ■⑦その他 			実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<ul style="list-style-type: none"> ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった 			
	4,696	1,484	<ul style="list-style-type: none"> □①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 ■⑦その他 			<超過理由等>		<想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	事業費削減率(%)		削減の内容			達成状況		目標値以上となった理由/目標値以下であった原因			
	24.01					実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 			
	0		<ul style="list-style-type: none"> ○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費 			<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要			
3. 事後評価											
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)											
評価	評価コメント				改善策及び展開方向						

事務事業評価表(令和2年度)

Header table with columns: 事業コード (11), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要(PLAN)) containing project details, objectives, content, and financial data across fiscal years.

Main body table (2. 事業の評価(DO+CHECK)) containing evaluation criteria, self-assessment, and post-evaluation results.

Table (3. 事後評価) for post-evaluation, including status and improvement directions.

Final evaluation table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (12), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 □経常 ■なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation status.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

Summary table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	13	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 庁議	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.27人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	2,851千円	(うち人件費)	2,349千円		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	83101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	基本構想や基本計画に基づく総合的・計画的な行政運営を行うため、各種計画や部門間との調整を図り、施策の重点化や総合性・統一性を確保するとともに、財政計画と整合した、より効果的で効率的な実施計画を策定します。また、総合的な調整機能により部門横断的な行政課題に的確に対応します。			事業目的	行政運営の基本方針や重要施策、条例などの重要事項の決定や、各部局間相互の総合調整を図るため。				
(3) 事業内容	内容	行政運営の基本方針や重要施策、条例などの重要事項の決定や、各部局間相互の総合調整を図るため、市長、副市長、教育長、水道事業管理者と各部局長で構成する庁議を開催する。原則として、議会のある月を除いて毎月2回開催し、庁議終了後は、報告書を作成し、市のホームページに掲載する。また、庁議の円滑な運営を図るため、庁議開催前に、市長、副市長、総務部長、企画財政部長で構成する庁議調整会議を開催して、庁議付議事項の内容について調整する。			当該年度執行計画	庁議開催予定日：毎月1日、15日（議会開催月除く） 庁議調整会議開催予定日：庁議開催日の1週間前				
		当該年度活動結果指標	庁議の開催回数	単位	回	想定値	15			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	議題についての連絡調整を行う。			直接	連絡調整率 (連絡調整された議題数/連絡調整を必要とする議題数)		%	100	100	
令和3年度	議題についての連絡調整を行う。			直接	連絡調整率 (連絡調整された議題数/連絡調整を必要とする議題数)		%		100	
令和4年度	議題についての連絡調整を行う。			直接	連絡調整率 (連絡調整された議題数/連絡調整を必要とする議題数)		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		庁議の開催・運営 議事概要の作成	0	庁議の開催・運営 議事概要の作成	0	庁議の開催・運営 議事概要の作成	0	庁議の開催・運営 議事概要の作成	0	
		2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	432	企画調整業務を行う会計年度任用職員 2,510千円×0.2	502	企画調整業務を行う会計年度任用職員 2,510千円×0.2	502	企画調整業務を行う会計年度任用職員 2,510千円×0.2	502	
		予算(決算)額	合計	432	合計	502	合計	502	合計	502
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		432		502		502		502	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.45		0.27		0.45		0.45		
	正職員人件費	3,960		2,349		3,915		3,915		
	嘱託職員報酬額	432		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	4,392		2,851		4,417		4,417		
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	292.8千円/回		190.07千円/回						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討
	行政運営の基本方針や重要施策、条例などの重要事項の決定について、部局間の情報共有や調整を図りながら決定していくために必要な事業である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>					○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 市役所内の様々な事項に係る意思決定及び情報共有するための会議の運営であることから、市民の参画は難しい。								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 会議の運営であることから該当しない。								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)		
							<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	3.51		単位	費用単位		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		
			%		10万円				<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	14	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	議会運営の支援	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ○全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人 (換算人数) 0.32人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	3,286千円 (うち人件費 2,784千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	83101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	基本構想や基本計画に基づく総合的・計画的な行政運営を行うため、各種計画や部門間との調整を図り、施策の重点化や総合性・統一性を確保するとともに、財政計画と整合した、より効果的で効率的な実施計画を策定します。また、総合的な調整機能により部門横断的な行政課題に的確に対応します。			事業目的	議会における一般質問への対応や施政方針演説を通じて、政策を分かりやすく説明する。					
(3) 事業内容	内容	基本構想や基本計画に基づく総合的・計画的な行政運営を行うため、各種計画や部門間との調整を図り、施策の重点化や総合性・統一性を確保するとともに、財政計画と整合した、より効果的で効率的な実施計画を策定します。また、総合的な調整機能により部門横断的な行政課題に的確に対応します。			当該年度執行計画	市議会定例会が開催される6月、9月、12月、3月に議会答弁検討会を開催する。市議会定例会の閉会後に、議会答弁に係る進行管理を行う。議会定例会で報告する一般報告書の作成(6月・9月・12月議会) 議会で表明する施政方針の作成(3月議会)					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	%	想定値	100	
当該年度	議会を円滑に進行できるよう事前調整を行う。				直接	答弁検討会、施政方針・一般報告の調整率	%		100	100	
令和3年度	議会を円滑に進行できるよう事前調整を行う。				直接	答弁検討会、施政方針・一般報告の調整率	%		100	100	
令和4年度	議会を円滑に進行できるよう事前調整を行う。				直接	答弁検討会、施政方針・一般報告の調整率	%		100	100	
(7) 事業実施上の課題と対応	質問・報告内容によって担当部局との調整に手間取る場合があるため、質問内容の正確な把握と速やかな調整に努める。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			議会運営の支援	0	議会運営の支援	0				議会運営の支援	0
			2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.166	432	企画調整業務を行う会計年度任用職員 2,510千円×0.2	502				企画調整業務を行う会計年度任用職員 2,510千円×0.2	502
		予算(決算)額	合計	432	合計	502	合計	502	合計	502	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		432		502		502		502		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.4		0.32		0.35		0.35		
	正職員人件費		3,520		2,784		3,045		3,045		
	嘱託職員報酬額		432		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,952		3,286		3,547		3,547		
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		39.52千円/%		32.86千円/%						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	議員の質問に対し、総合的な調整を行ったうえで的確かつ簡潔に答弁するために必要な事業である。また、答弁した内容が、その後に各部局において進められているのかを調整するうえで、議会答弁の進行管理は必要である。施政方針や一般報告により、市が新年度に取り組む施策や事業などを明らかにして、市政の運営方針や進捗状況に関する情報を提供することは、議会・市民・職員との情報の共有化を図るために必要不可欠であり、さらに市民の市政への関心を高め、市民と市の協働のまちづくりを一層推進するためにも必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		対目標値(%)		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント				改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (15), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main planning section including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation section with multiple rows for ①必要性, ②参加・協働の工夫, ③環境への配慮, ④目標設定は適切か?, ⑤効率性. Includes sub-tables for 事前評価, 事後評価, 目標値の妥当性のチェック, 達成状況.

3. 事後評価

Post-evaluation section with ①現状どおり推進, ②改善, ③縮小, ④結合, ⑤休止, ⑥廃止, ⑦事業手法見直し, ⑧その他. Includes 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(令和2年度)

Header table with columns: 事業コード (16), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 一般, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown for Heisei 31 and Reiwa 2-4.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1)事業が今必要である理由・背景は?, (2)市が実施する必要性はあるか?, (3)参加・協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫をして

3. 事後評価

Footer table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes checkboxes for status like '現状どおり推進', '拡充', '縮小', etc.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (21), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (24), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for improvement strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	25	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	東葛広域行政連絡協議会		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	企画財政部・企画課							
	③事業主体	<input type="radio"/> 市 <input checked="" type="radio"/> その他（松戸市・柏市・野田市・流山市・鎌ヶ谷市・我孫子市）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人（換算人数）		0.18人								
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	1,616千円（うち人件費 1,566千円）									
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	（計画名）						
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者			事業目的	東葛6市（松戸市・柏市・野田市・流山市・鎌ヶ谷市・我孫子市）の共通課題、広域的な課題に対応し、市民サービスの向上と効率的・効果的な行政運営を進める。										
(3) 事業内容	内容	東葛6市の広域的な共通課題を認識し、その解決に向けた取り組みの検討を行う。 ①広域行政の充実に関する要請への対応 ②広域連携に係る計画等の検討 ③6市のまちづくりについての情報交換			当該年度執行計画	随時 幹事会（年3回程度）、行政懇談会（県議、国会議員）、行政視察 随時 東葛6市中堅職員検討会（年4回程度）、視察（年1回、必要に応じて） 5月 総会（書面協議） 10～11月 東葛広域行政連絡協議会研修会又は視察										
		当該年度活動結果指標	会議の開催回数	単位	回	想定値	8		実績値							
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	東葛6市の広域的な共通課題の解決に向けた取り組みを行うことで、効率的、効果的なまちづくりを進める。				直接	課題への取り組み数		件	1	1						
令和3年度	東葛6市の広域的な共通課題の解決に向けた取り組みを行うことで、効率的、効果的なまちづくりを進められている。				直接	課題への取り組み数		件		1						
令和4年度	東葛6市の広域的な共通課題の解決に向けた取り組みを行うことで、効率的、効果的なまちづくりを進められている。				直接	課題への取り組み数		件		1						
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		負担金		50	負担金		50			負担金		50	負担金		50	
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
		起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%
(9) 財源内訳	予算(決算)額	合計		合計		合計		合計		合計		合計				
(10) 人件費等	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		50		50		50		50		50		50			
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0			
換算人数(人)		0.21		0.18		0.37		0.37		0.37		0.37				
正職員人件費		1,848		1,566		3,219		3,219		3,219		3,219				
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		0				
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,898		1,616		3,269		3,269		3,269		3,269				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		237.25千円/回		202千円/回												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	行政区域を超えた市民の生活圏の拡大、少子高齢化や厳しい財政状況の中で、近隣市が連携して、共通課題の解決や広域的な課題に対応することで、市民サービスの向上と効率的、効果的な行政運営をしていく必要がある。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	<input checked="" type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要	
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）		参加・協働の内容 <input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要	
	<その他の内容> 東葛地域の6市が広域的な課題を抽出し、その課題解決のために協議・調整を行う組織のため、市民参加はない。						<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要		
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要		
	<その他の内容> 該当なし						<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		<input type="radio"/> 要 <input type="radio"/> 不要		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成					
	1	1	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過		事業費の削減対策について		
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託	<input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>				
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>						
14.86											
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	0.06	単位 費用単位 件	費用単位 10万円	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				

3. 事後評価										
<input type="radio"/> 現状どおり推進 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 結合 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 事業手法見直し <input type="radio"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	27	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	JOBANアートライン協議会		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	企画財政部・企画課	
	③事業主体	<input type="radio"/> 市 <input checked="" type="radio"/> その他（常磐線沿線自治体等10団体）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市				
	⑤事業期間	平成18年度～			⑥担当職員数	3人（換算人数） 0.17人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	1,879千円（うち人件費 1,479千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、東日本旅客鉄道株式会社との10団体で当協議会を構成する本協議会で次の事業を行う。 ①JR常磐線沿線地域の活性化についての調査・研究 ②JR常磐線沿線地域の活性化を図るイベント等の普及・啓発 ③資料の収集及び情報交換の実施 ④目的達成のために必要な協議			事業目的	アートを基調として、常磐線沿線のイメージアップと沿線自治体の活性化などを図る。				
(3) 事業内容	内容	台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、JR東日本東京支社の10団体で構成する当協議会で、JR常磐線沿線地域の活性化に向けて次の事業を行う。 ・沿線活性化にむけ全構成団体が連携して行う共同事業（スタンプラリー等）の開催			当該年度執行計画	台東区、荒川区、足立区、葛飾区、松戸市、柏市、我孫子市、取手市、東京芸術大学、JR東日本東京支社の10団体で構成する当協議会で、JR常磐線沿線地域の活性化に向けて次の事業を行う。 ・沿線活性化にむけ全構成団体が連携して行う共同事業（スタンプラリー等）の開催				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標	単位	回	想定値	実績値
当該年度	常磐線沿線のイメージアップを図る。				間接	イベント等の開催回数	件		1	1
令和3年度	常磐線沿線のイメージアップが図られている。				間接	イベント等の開催回数	件			2
令和4年度	常磐線沿線のイメージアップが図られている。				間接	イベント等の開催回数	件			2
(7) 事業実施上の課題と対応	常磐線沿線のイメージアップを図るため、JR東日本や東京芸術大学、沿線自治体と連携を密にし事業を展開していく必要がある。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		負担金	50	負担金	50	負担金	50	負担金	50	
		特別負担金	350	特別負担金	350					
		合計	400	合計	400	合計	50	合計	50	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		400		400		50		50		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.19	換算人数(人)	0.17	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2		
正職員人件費	1,672	1,479	1,740	1,740						
嘱託職員報酬額	0	0	0	0						
臨時職員賃金額	0	0	0	0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,072	1,879	1,790	1,790						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,072千円/回		1,879千円/回							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	つくばエクスプレスが開通したことなどにより、常磐線利用者が減少していることから、JR東日本と沿線自治体が連携して、さまざまな事業を展開することで、常磐線沿線のイメージアップを図る必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 協議会は常磐線8自治体と、JR東日本、東京芸術大学で構成しており、市民の参画はない。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 協議会のメインイベントである「アートアンブレラ」は、JRの忘れ物傘を活用している。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	1	1	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.05	単位 費用単位 件 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1447), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1539	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	柏レイソルホームタウン事業		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	企画財政部・企画課		
	③事業主体	<input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	平成21年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.08人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	40千円		当該(開始)年度	(当初)	811千円 (うち人件費 696千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。			事業目的	柏レイソルホームタウン事業を通して、市民のホームタウン意識を醸成する。					
(3) 事業内容	内容	柏レイソルホームタウンエリア（我孫子市、印西市、柏市、鎌ヶ谷市、白井市、流山市、野田市、松戸市）の構成市として、レイソルのホームゲームとして年に1回開催される「ホームタウンサクスデー」において、市を紹介する動画の放映や場内ブースでの特産品の販売などのPR活動を実施する。			当該年度執行計画	・5月～11月にホームタウンサクスデーの開催 子ども達の参加、ピッチを使用しているパフォーマンスによる、我孫子市のPRや柏レイソルHPによる情報発信を行う。 ・我孫子市のイベントへの、柏レイソル選手やコーチの派遣について調整する。					
		当該年度活動結果指標	ホームタウンサクスデーの開催回数	単位	回	想定値	1		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	ホームタウンサクスデーを開催することで、我孫子市民のホームタウン意識を徐々に高める。				間接	ホームタウンサクスデーの開催回数		回	1	1	
令和3年度	ホームタウンサクスデーを開催することで、我孫子市民のホームタウン意識が徐々に高まっている。				間接	ホームタウンサクスデーの開催回数		回		1	
令和4年度	ホームタウンサクスデーを開催することで、我孫子市民のホームタウン意識が徐々に高まっている。				間接	ホームタウンサクスデーの開催回数		回		1	
(7) 事業実施上の課題と対応	我孫子市の情報をより多くの人に伝えるため、ホームタウンサクスデー開催時に魅力あるイベントや情報発信を実施する。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		我孫子ホームタウンサクスデーの開催に向けた調整 ホームタウンサクスデーに係る消耗品 セレモニー花束 5,000円×3束 ホームタウンサクスデー実施に係る消耗品 PR用消耗品	15 30 70	ホームタウンサクスデーの開催に向けた調整 ホームタウンサクスデーに係る消耗品 セレモニー特産品 5,000円×3個 ホームタウンサクスデー実施に係る消耗品 PR用消耗品	15 30 70			ホームタウンサクスデーの開催に向けた調整 ホームタウンサクスデーに係る消耗品 セレモニー特産品 5,000円×3個 ホームタウンサクスデー実施に係る消耗品 PR用消耗品	15 30 70	ホームタウンサクスデーの開催に向けた調整 ホームタウンサクスデーに係る消耗品 セレモニー特産品 5,000円×3個 ホームタウンサクスデー実施に係る消耗品 PR用消耗品	15 30 70
		予算(決算)額	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	
		115	115	115	115	115	115	115	115	115	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源	115		115		115		115				
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.08		0.08		0.08		0.08			
正職員人件費	704		696		696		696				
嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
臨時職員賃金額	0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	819		811		811		811				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	819千円/回		811千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	柏レイソルとの交流により、スポーツ振興や青少年の育成をはじめ、市のPRを通して市民のホームタウン意識を醸成する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 農産物直売所を運営するあびべやインフォメーションセンターの指定管理者と連携し、我孫子市のPR事業として実施している。柏レイソルの主催であることから、実施できる内容が限られているため、市民の参画は進めていない。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 環境負荷となる事業ではない。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	1	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(回)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	811	8	<削減の内容> PRするふるさと産品や農産物などを見直し、効果的に実施していく。		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.12	単位 費用単位 回 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1840	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	手賀沼・手賀川活用推進協議会		実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	企画財政部・企画課					
	③事業主体	○市 <input checked="" type="checkbox"/> その他（柏市・印西市・我孫子市・千葉県・国土交通省）			④対象地区	○我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	令和2年度～			⑥担当職員数	3人（換算人数） 0.25人								
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	2,175千円（うち人件費 2,175千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	84002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市まち・ひと・しごと創						
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の浄化、ごみ処理、消防、医療、防災、観光振興、公共交通の利便性向上などの広域的な課題に対応するため、近隣自治体や関係機関、周辺住民との連携を強化します。また、東葛中部地区総合開発事務組合が運営しているウイングホール柏斎場の効率的な運営を促進します。また、平成26年4月から指定管理者千葉県東葛飾地域振興事務所・印旛地域振興事務所・柏土木事務所・印旛土木事務所、柏市・印西市・我孫子市（事務局）・国土交通省利根川下流河川事務所（オブザーバー）で構成する「手賀沼・手賀川活用推進協議会」において、手賀沼・手賀川やその周辺の豊かな水と緑などの資源を活用した施策の検討及び実現に向けた取組みを行う。			事業目的	手賀沼・手賀川やその周辺の豊かな水と緑などの資源を活用したまちづくりを推進し、地域の魅力向上を図る。								
(3) 事業内容	内容	平成29年度より、「手賀沼・手賀川活用推進のためのアクションプラン」（以下、アクションプランという。）に記載した、各構成団体が行う事業の情報共有や広域連携で実施する取組みの調整を行っている。令和2年度は、これまでに実施した水辺の活性化に向けた検討や情報発信の強化を引き続き進めるとともに、手賀沼・手賀川地域における効果的な案内サインの整備について検討する。			当該年度執行計画	各1～2回/年 手賀沼・手賀川活用推進協議会・幹事会の開催 ・アクションプランに位置付けた事業の進捗把握 ・広域連携事業の調整 1～2回/年 協議会で視察研修を実施 適宜 3市企画担当会議、ワーキンググループ会議の実施								
		当該年度活動結果指標	協議会・幹事会の開催		単位	回	想定値	3						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値					
当該年度	手賀沼・手賀川の水辺のにぎわい創出のため、アクションプランに位置付けられた事業の進捗を把握し、広域連携により相乗効果が図れる事業の推進を支援していく。				間接	アクションプランに位置付けられた広域連携にかかる施策のうち、具体的な取組手法を検討したものの割合		%	40 60					
令和3年度	アクションプランに位置付けられた水辺のにぎわい創出のための環境整備や取組みが進んでいる。				間接	アクションプランに位置付けられた広域連携にかかる施策のうち、具体的な取組手法を検討したものの割合		%	80					
令和4年度	アクションプランに位置付けられた水辺のにぎわい創出のための環境整備や取組みが進んでいる。				間接	アクションプランに位置付けられた広域連携にかかる施策のうち、具体的な取組手法を検討したものの割合		%	100					
(7) 事業実施上の課題と対応	広域連携での取組みのため、各構成団体の協力が不可欠である。協議会において互いの事業の情報交換を行いながら、連携することにより相乗効果が期待できる事業について、取組みを進める。				代替案検討	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*	手賀沼・手賀川活用推進協議会の運営 ・各構成団体が行う事業の情報共有 ・広域連携事業の検討・調整	0	*	手賀沼・手賀川活用推進協議会の運営 ・各構成団体が行う事業の情報共有 ・広域連携事業の検討・調整	0	*	手賀沼・手賀川活用推進協議会の運営 ・各構成団体が行う事業の情報共有 ・広域連携事業の検討・調整	0	*	手賀沼・手賀川活用推進協議会の運営 ・各構成団体が行う事業の情報共有 ・広域連携事業の検討・調整	0	
		合計	0	合計	0	合計	0	合計	0					
		予算(決算)額	0	予算(決算)額	0	予算(決算)額	0	予算(決算)額	0					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%					
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%					
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%					
	一般財源		0		0		0		0					
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0					
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.31	換算人数(人)	0.25	換算人数(人)	0.3	換算人数(人)	0.3						
	正職員人件費	2,728	正職員人件費	2,175	正職員人件費	2,610	正職員人件費	2,610						
	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0						
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0						
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,728	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,175	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,610	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,610						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	1,364千円/回		725千円/回											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価	事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))	改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	手賀沼・手賀川やその周辺の豊かな水と緑の空間とこの地域に所在する様々な資源を活用し、地域の魅力向上や交流人口の拡大、地域産業の活性化を図る広域的なまちづくりをさらに推進していく必要がある。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要		
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input checked="" type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他	<その他の内容> <その他の内容> ○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>	○要 ○不要		
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容	工夫の具体的な内容	実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容	○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>	構成団体の実施する事業だけでなく、手賀沼・手賀川地域の活性化に寄与する民間事業者や地域住民の取組みについて情報の共有、発信をしている。		○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点	取組む内容	実施した具体的な内容	環境への配慮	○要 ○不要
	■①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>	手賀沼・手賀川の自然環境を生かして、地域の魅力向上や交流人口の拡大に向けた取組みを推進している。		○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック	達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成
	40	60	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	実績値(f)(%) 達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策	実施状況	事業費の削減対策について	○要 ○不要
	事業費(c)(千円) 2,175 事業費削減額(d)(千円) 553 事業費削減率(%) 20.27	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <削減の内容>	実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法	達成状況	○要 ○不要
	2.76	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1978	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	新たな文化交流拠点施設整備の検討		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	企画財政部・企画課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 令和2年度			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.18人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,566千円 (うち人件費 1,566千円)								
	⑧施策の位置づけ	施策コード	53101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民の自主的な文化芸術活動を促進するため、共催・後援事業の拡充を図ります。また、活動や発表の場を提供するため、既存施設の効率的利用を一層進めるとともに、さまざまな整備手法を検討しながら、文化を中心としたさまざまな交流やにぎわいを生み出す文化交流拠点施設の整備に取り組みます。			事業目的	市民会館に代わる新たな文化交流拠点施設の整備に取り組み、文化芸術活動を支援する。									
(3) 事業内容	内容	新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、令和元年5月にとりまとめた「我孫子市文化交流拠点施設 建設構想(案)」をもとに、これまで収集した意見を踏まえて、規模、機能等を検討していく。			当該年度執行計画	これまで収集した意見を踏まえ、規模等を検討していく。									
		当該年度活動結果指標	新たな文化交流拠点施設のホール規模等の検討状況		単位	%	想定値	10							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	「建設構想(案)」がたたき台となり、文化交流拠点施設の整備に関する議論が深化している。				間接	「建設構想」策定の進捗率		%	10	15					
令和3年度	「建設構想(案)」がたたき台となり、文化交流拠点施設の整備に関する議論が深化している。				間接	「建設構想」策定の進捗率		%		30					
令和4年度	「建設構想(案)」がたたき台となり、文化交流拠点施設の整備に関する議論が深化している。				間接	「建設構想」策定の進捗率		%		40					
(7) 事業実施上の課題と対応	文化交流拠点施設の整備について、導入を期待する機能や規模、建設支持や反対など、さまざまな意見があることから集約に相当の時間を要することが見込まれる。				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	・「建設構想(案)」の提示 ・「建設構想(案)」をたたき台とした議論の深化 2号嘱託職員人件費 2,596千円×0.167	0	434	*	これまで収集した意見を踏まえて、規模等を検討	0		*	前年度の状況を踏まえて検討	0	*	前年度の状況を踏まえて検討	0
		予算(決算)額	合計	434	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源		434		0		0		0		0		0			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
換算人数(人)		0.31		0.18		0.21		0.21		0.21		0.21			
正職員人件費		2,728		1,566		1,827		1,827		1,827		1,827			
嘱託職員報酬額		434		0		0		0		0		0			
臨時職員賃金		0		0		0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,162		1,566		1,827		1,827		1,827		1,827			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		3,162千円/回		156.6千円/%											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	文化施設の建設は、多くの市民の方々から望まれており、議会においても「市民会館早期再建に関する要請について」の陳情が採択されていることなどから、整備に向けて、規模等に関する意見を集約していく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民から寄せられた意見を踏まえて、導入機能や規模等を検討していく。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	10	15	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	1,566	1,596	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 <削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.96	単位 費用単位 % 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1981), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価 and 改善策及び展開方向. Includes a section for 評価コメント.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2022), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and performance indicators.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2052	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	成田空港活用協議会への参画		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	企画財政部・企画課							
	③事業主体	○市 ●その他（県内146団体が組織する成田空港活用協議会）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	平成25年度～			⑥担当職員数	2人（換算人数）		0.02人								
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	224千円（うち人件費174千円）									
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）						
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民が快適に通勤・通学や日常生活に必要な移動ができるよう、重要な公共交通機関であるJR成田線の増発やJR常磐線の特別快速の我孫子駅停車、快速電車の削減ダイヤの復元、東京駅乗り入れ枠の拡大と東海線との相互直通運転などをJR東日本に働きかけ、鉄道の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			事業目的	成田空港を活用して千葉県経済を活性化するために官民が連携して設立された「成田空港活用協議会」を通して、成田線沿線の観光振興策の促進や重要な公共交通機関であるJR成田線の増発などの利便性向上を図る。										
(3) 事業内容	内容	空港利用者の利便性向上やLCCの利用促進、観光振興、交通アクセスの充実などの戦略を実現していくため千葉県、成田市及び県内企業等が発起人となり平成25年7月に成田空港活用協議会を設立した。我孫子市もこの協議会に参画し、鉄道の充実について、成田線の重要性を協議会の中で検討していただき、沿線の活性化につなげていく。また、成田空港の発着回数の増加などに合わせた、成田線の増発などの輸送力の増強については、引き続き千葉県や沿線自治体と連携しながらJR東日本に働きかけていく。			当該年度執行計画	随時：協議会担当者会議、協議会イベントへの参画 5月：総会、セミナーへの参加										
		当該年度活動結果指標	会議等への参加回数	単位	回	想定値	3	実績値								
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	成田線沿線の活性化につながる事業の提案を行う。				直接	事業の提案数		案	1	1						
令和3年度	成田線沿線の活性化につながる事業が展開されている。				直接	活性化につながる事業の進捗率		%		100						
令和4年度	成田線沿線の活性化につながる事業が展開されている。				直接	活性化につながる事業の進捗率		%		100						
(7) 事業実施上の課題と対応	成田空港活用協議会の活動は、圏央道や国内線・国外線の活用を促進する取組みが主となっている。協議会が行うPRイベントの際に成田線に関するPRも行うよう協議会事務局に働きかけているが、その効果測定は難しい。				代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			成田空港活用協議会負担金	50		成田空港活用協議会負担金	50				成田空港活用協議会負担金	50			成田空港活用協議会負担金	50
		予算(決算)額	合計	50	合計	50	合計	50	合計	50						
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0						
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0						
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0						
(10) 人件費等	一般財源	50	50	50	50	50	50	50								
	他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0							
	換算人数(人)	0.02	0.02	0.03	0.03											
	正職員人件費	176	174	261	261											
嘱託職員報酬額	0	0	0	0												
臨時職員賃金額	0	0	0	0												
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	226	224	311	311												
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	75.33千円/回		74.67千円/回													

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	成田空港の年間発着容量30万回化に向けた施設整備などによる発着回数の増加と2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたインパウンドの拡大に伴い、人口集積地域である千葉県北西部からの旅客需要も大きく増加することが見込まれており、この機を捉えて成田線の増発などの輸送力強化に取り組んでいく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである（理由） ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(案)	目標値(b)(案)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	1	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(案)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 ■⑦その他		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	224	2	<削減の内容> 実際の事務に係る仕事量を検証し、事務事業にかかる人工を見直す		<超過理由等>		○要 ○不要		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0	10万円	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2136), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2220), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)